

2022年度第98回天皇杯・第89回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会  
香川県代表決定戦

No. E4

競技日	令和4年5月1日(日)	会場	ツインパルなご
開始時間	15時00分開始	競技種別	男子決勝
審判名	CC 仲地祥吾 U1	平尾翔汰朗 U2	大西空

四国電力	83	15 - 19 14 - 6 31 - 21 23 - 17	63	クリッパークラブ
------	----	---	----	----------

チーム名		四国電力					
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	香川 誠 治	21	3	5	2	1	
6	本井 敏 雄						
8	津田 晟 多 郎						
10	渡 辺 新	13		6	1	4	
12	鈴木 涼 太	16		4	8	3	
16	梶 原 聖 大	27		10	7	3	
17	鈴木 一 渡						
18	山 野 裕 太	6		3		1	
顧問	山 崎 達 成						
部長	善 相 原 浩 二						
コーチ	近 石 裕 幸						
A・コーチ	林 達 郎						
		83	3	28	16	11	

チーム名		クリッパークラブ					
No.	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
0	國 方 俊 吾	22	2	7	2	3	
1	福 本 琉 綺	8	1		5	3	
2	松 野 創						
3	福 本 紅 輝						
5	奥 田 真 大						
6	河 津 郁 巳	6	2			4	
10	植 原 州 哉	8	1	1	3	4	
11	川 野 裕 知	8	1	2	1	4	
13	迫 田 瑛 貴						
15	東 原 祐 哉						
23	明 見 京 祐	8	2	1		3	
24	高 橋 海 人	3	1			2	
60	堀 田 大 暉						
92	高 橋 柇 斗						
コーチ	奥 田 真 大						
A・コーチ	黒 田 泰 紀						
		63	10	11	9	23	

【戦評】

1Q:両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。序盤、四国電力(四電)#10がドライブインを決めると、クリッパークラブ(クリッパー)#0もドライブを決め返すなど一進一退の展開。中盤も両チーム激しいディフェンスの中、膠着状態が続く。終盤は、クリッパー#0、#11、#10の3Pが決まる。四電も#4の3P、#16のゴール下で応戦。クリッパーが19-15とリードして終了。

2Q:立ち上がり、クリッパーの攻めが単調になる中、四電が#4の速攻などで着実に加点。開始4分で23-19と逆転する。中盤以降、四電は#16のフリースローなどで着実に加点。クリッパーは四電のディフェンスに苦しみ時間帯があったが、終盤#0が3Pを沈める。四電が29-25とリードしてハーフタイムを迎える。

3Q:立ち上がり、四電は#16のシュートで先制も、クリッパーの連続シュートが決まり、31-31の同点となる。しかし、四電は#16のドライブイン、#4の3P、#12のミドルシュートで突き放す。終盤、クリッパーは#1、#24が3Pを沈めるも、四電のリズムは崩れず、四電が60-46とリードし、最終Qを迎える。

4Q:序盤、クリッパーは#6の3Pが連続で決まる。四電も#16、#10のドライブインなどで主導権を渡さない。中盤、クリッパーは#0の個人技で気を吐くも、四電に傾いた流れを止められない。終盤、四電はゾーンディフェンスに変え、安定したゲーム展開で83-63と勝利をおさめ、昨年度に続き、優勝を果たした。

記載者 三本康一郎